

第55期

山一電機株式会社 中間報告書

2009.4.1~2009.9.30



株主のみなさまへ



経営理念

山一電機グループは、新しい価値の創造に革新的に取り組み、エレクトロニクス産業において、すぐれた品質のトータルパッケージサービスを提供することを通じて、お客様の価値創出に貢献します。

1 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

2 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

3 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

4 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

5 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

Contents

経営理念	1
ごあいさつ	2
トピックス	3
連結財務諸表（要約）	6
セグメント情報／連結	8
会社の概要	9
株式の状況	10



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第55期の中間報告書をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間の経済状況は、景気刺激策の効果により部分的に活況となっているものの、全般的には設備投資抑制の継続や雇用情勢の悪化および為替の円高基調の定着など、厳しい状況で推移いたしました。当社グループが関連するエレクトロニクス業界におきましては、中国や韓国などアジア地域でのデジタル機器を中心とした電子部品の需要の回復傾向が見られましたが、全般的には力強さが感じられず、依然として厳しい状況が続いております。

このような厳しい経営環境のなかで当社グループは、新製品を中心に受注・売上の確保に努め、売上高は当初発表いたしました予想値と同水準の9,278百万円（前年同四半期比34.3%減）となりました。一方、損益面におきましては、人員の適正

化と休業の実施、設備投資・研究開発の厳選など総費用の低減は進みましたが、本格的な市場回復の遅れや売価下落などが響き、加えて米ドルなどに対する円高の進行により、営業損失1,000百万円（前年同四半期は営業損失411百万円）、経常損失1,392百万円（前年同四半期は経常損失313百万円）となりました。なお、四半期純損益につきましては、退職給付制度終了益253百万円の計上により当初発表いたしました予想を上回り、四半期純損失1,127百万円（前年同四半期は四半期純損失920百万円）となりました。

通期の業績予想につきましては、連結・個別ともに当初発表いたしました予想値（連結通期業績予想：売上高22,410百万円、営業損失900百万円、経常損失1,200百万円、当期純損失1,640百万円）を維持させて頂きます。同時に、更なる構造改革ならびに新製品の売上寄与加速により、収益性改善に努めてまいります。

なお、中間配当の実施につきましては、誠に遺憾ではありませんが、見送らせて頂くことといたしました。

株主の皆様におかれましては、このような厳しい経営状況でございますが、当第4四半期および第56期の黒字転換に向けて、また早期の復配に向けて鋭意努力してまいりますので、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

山一電機株式会社
代表取締役社長
織田 俊司



平成21年11月

テストソリューション事業：プローブカード

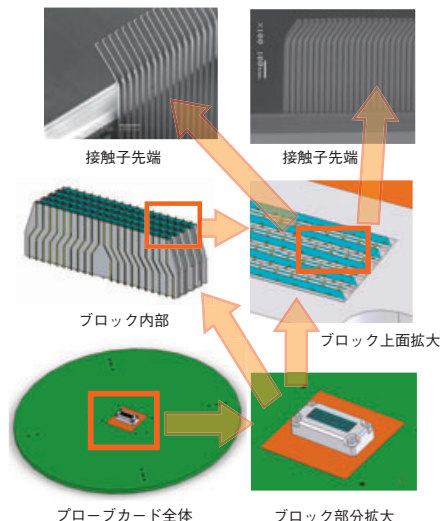
「イノベティブプローブカード」がNEDOの 助成事業に採択された

「イノベティブプローブカードの実用化開発」が、NEDOのイノベーション推進事業に採択されました。これにより、今後2年間研究開発費用のおよそ2分の1がNEDOの助成金でまかなわれます。

同プローブカードはMEMS技術により、ウエハー上に形成されたLSI（半導体集積回路）の検査工程において、LSIを同時に測定するための製品です。

※NEDO：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
※イノベーション推進事業：産業技術実用化開発助成事業

イノベティブプローブカードのイメージ図



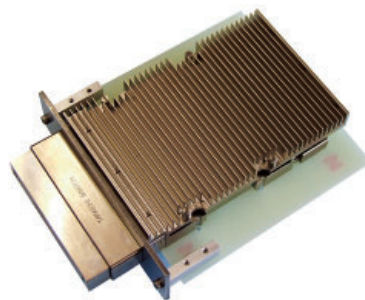
コネクタソリューション事業：高速伝送用コネクタ

100Gbps イーサネット光モジュール対応 ヒートシンク機能付きコネクタシステムの開発

次世代通信網では基幹系から局舎のシステムまで大容量の光通信が必要となります。

当社では局舎のシステム相互間を100Gbps（1ギガビット／秒＝1,000,000,000ビット／秒）で接続させるため、光モジュールのコネクタ、ガイドおよびヒートシンクをセットで開発しました。

この光モジュールの高速伝送性能を最大限に引き出すために、温度上昇を抑えるための放熱設計など、当社の高い技術力を盛り込んだ付加価値の高い製品となっています。



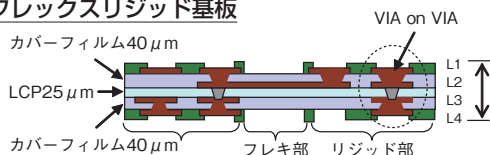
コネクタソリューション事業：YFLEX

折り曲げ可能な薄型フレックスリジッド基板 「YFFシリーズ」 開発

「全層ランダムビア構造」により設計自由度が向上

薄型フレックスリジッド基板の用途としては、携帯端末機器基板、カメラモジュール基板、カードモジュール基板、小型FPDモジュール基板、センサーモジュール基板（指紋、静脈）などの高速伝送用に最適な基板です。

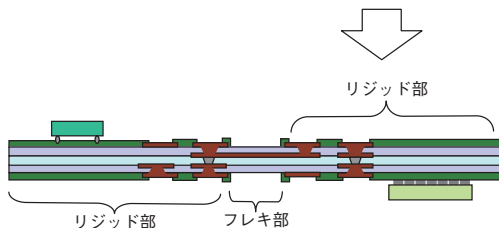
YFFシリーズ 4層フレックスリジッド基板



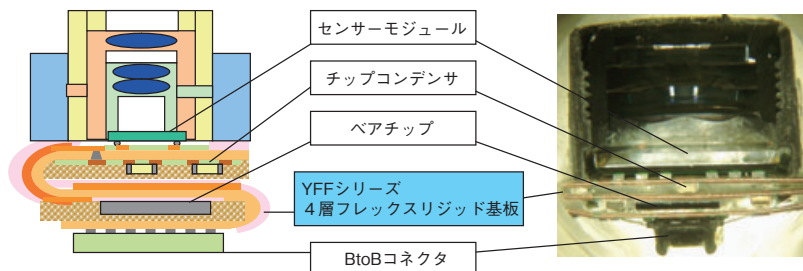
総厚0.2mm程度



部品実装



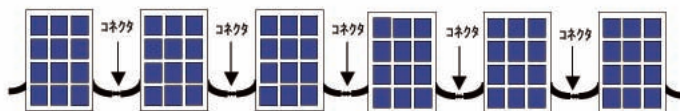
4層フレックスリジッド基板を折り曲げた部品内蔵12層基板構造



PVソリューション事業：ジャンクションボックス、コネクタ



ソーラーパネル（太陽電池）設置風景



ソーラーパネルとソーラーパネルをつなぐコネクタの概要図



【表側】



【裏側】

ソーラーパネル

表の一枚一枚のソーラーパネルから直流電力を一箇所に集電するジャンクションボックス

ソーラーパネルとソーラーパネルをつなぐコネクタ



結晶系ソーラーパネル用
ジャンクションボックス



薄膜系ソーラーパネル用
ジャンクションボックス



ノンロックタイプ PV コネクタ



ロックタイプ PV コネクタ

■第2四半期連結貸借対照表

【資産の部】

科 目	当第2四半期末 (平成21年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
1 流動資産	14,839	15,914
現金及び預金	4,177	5,999
受取手形及び売掛金	7,090	6,455
たな卸資産	2,813	2,629
その他	756	830
固定資産	14,793	14,645
有形固定資産	11,257	11,456
無形固定資産	262	307
2 投資その他の資産	3,274	2,881
資産合計	29,632	30,560

【負債、純資産の部】

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成21年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
流動負債	11,803	12,057
支払手形及び買掛金	3,478	3,163
短期借入金	5,514	5,742
その他	2,811	3,151
固定負債	980	868
長期借入金	477	484
その他	503	383
負債合計	12,783	12,925
株主資本	17,556	18,684
資本金	10,013	10,013
資本剰余金	10,971	10,971
利益剰余金	△ 1,147	△ 19
自己株式	△ 2,281	△ 2,281
評価・換算差額等	△ 732	△ 1,075
少数株主持分	25	25
3 純資産合計	16,848	17,634
負債純資産合計	29,632	30,560

連結財務諸表（要約）

第2四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日)
4 売上高	9,278	14,132
売上原価	7,510	10,632
売上総利益	1,767	3,499
販売費及び一般管理費	2,768	3,911
5 営業利益	△ 1,000	△ 411
営業外収益	122	187
営業外費用	513	88
5 経常利益	△ 1,392	△ 313
特別利益	272	87
特別損失	49	349
税金等調整前四半期純利益	△ 1,169	△ 575
法人税、住民税及び事業税	58	90
法人税等調整額	△ 99	253
少数株主利益	△ 0	0
5 四半期純利益	△ 1,127	△ 920

1 流動資産

流動資産は、前期の売上高減少に伴う売上債権回収額の減少や特別退職金の支払いなどにより現金及び預金が減少したことなどから1,075百万円の減少となりました。

2 投資その他の資産

投資その他の資産は、投資有価証券の時価上昇による評価差益の計上などにより392百万円の増加となりました。

3 純資産合計

純資産は、四半期純損失を計上したことにより株主資本が1,127百万円減少したことなどから785百万円の減少となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 915	474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 595	△ 663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 254	809
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 55	△ 86
現金及び現金同等物の期首残高	5,993	5,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,172	5,664

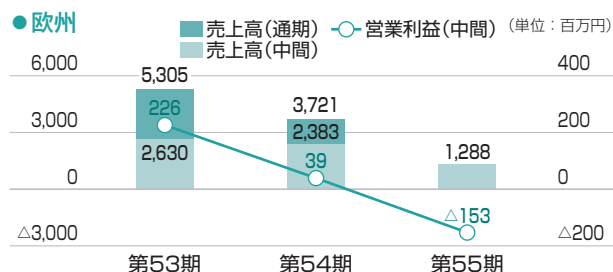
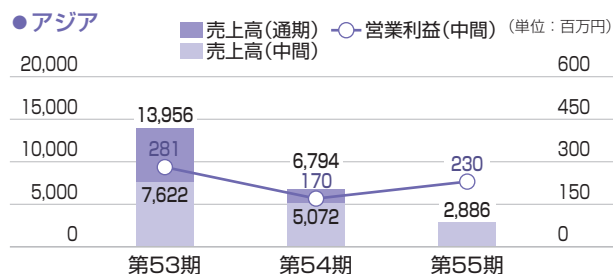
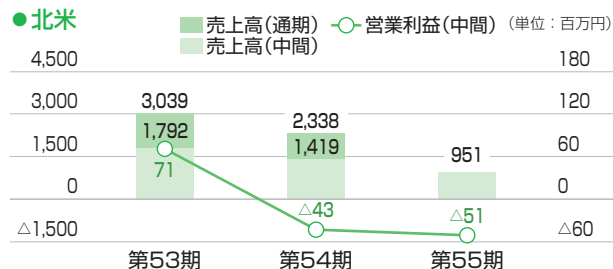
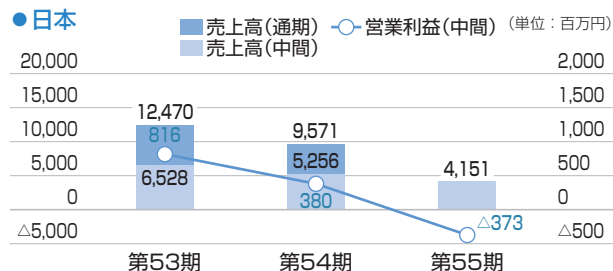
4 売上高

売上高につきましては、薄型TVやアミューズメント向け高速伝送用コネクタ製品やデジタル機器および通信インフラ向け新製品の寄与もあり堅調に推移いたしました。また夏場以降メモリー系半導体向け中心にテストソリューション製品の受注が増加し、前第4四半期の最悪期を脱し回復基調となっておりますが、事業全体の売上高では前年同四半期比で34.3%の減収となりました。

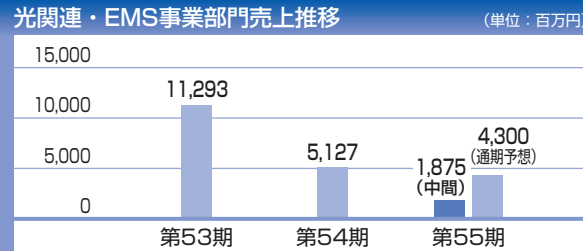
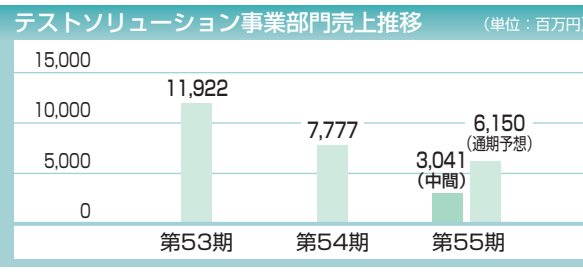
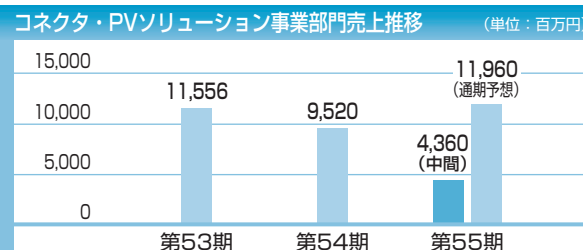
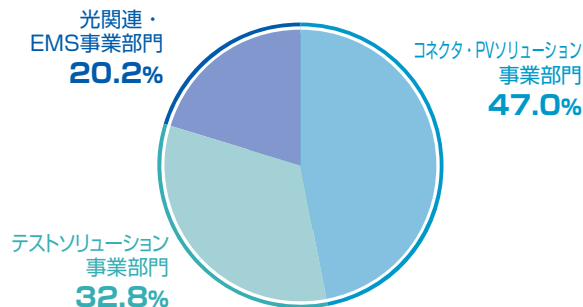
5 営業利益、経常利益および四半期純利益

損益面におきましては、設備投資・研究開発の厳選や生産体制の再構築を行い、また即効性のあるコストダウンと徹底した経費削減を図り、総費用の低減は進みました。しかしながら本格的な市場回復の遅れや売価下落などが響き、加えて米ドルなどに対する円高の進行により、営業損失1,000百万円、経常損失1,392百万円となりました。なお、四半期純損益は、退職給付制度終了益253百万円の計上により、四半期純損失1,127百万円となりました。

地域別セグメント情報



部門別売上



※当期より事業部門を再編しており、YFLEX事業の売上は、コネクタ・PVソリューション事業部門売上に含まれております。

会社の概要 (平成21年9月30日現在)

会社の概要

商 号 山一電機株式会社
所 在 地 東京都大田区中馬込三丁目28番7号
設 立 昭和31年11月
資 本 金 100億1,363万円
従 業 員 数 509名 (連結 3,259名)
主な事業内容
1. コネクタ事業
2. テストソリューション事業
3. YFLEX事業
4. PVソリューション事業
5. 光関連事業
6. EMS事業

役員

代表取締役社長	織 田 俊 司	常勤監査役	瀬 野 四 郎
取 締 役	鶴 家 紀 之	社外監査役	吉 澤 壽美雄
取 締 役	小 鯖 晃	社外監査役	多 田 郁 夫
取 締 役	渡 部 武 光		
取 締 役	加 藤 勝 市		
取 締 役	村 田 和 則		
取 締 役	阿 部 俊 司		

グローバルネットワーク

ヨーロッパ

- ① ヤマイチエレクトロニクス ドイツェランドGmbH (技 販)
- ② ヤマイチエレクトロニクス ドイツェランドマニュファクチャリングGmbH (生)
- ③ ヤマイチエレクトロニクス グレートブリテンLtd. (販)
- ④ ヤマイチエレクトロニクス イタリアs.r.l. (販)
- ⑤ ヤマイチエレクトロニクス チュニジアS.A.R.L. (技)

技 技術開発拠点
生 生産拠点
販 販売拠点

アメリカ

- ⑭ ヤマイチエレクトロニクス U.S.A., INC. (技 販)

アジア

- ⑥ ヤマイチエレクトロニクス シンガポールPTE LTD (販)
- ⑦ 台湾山一電子股份有限公司 (販)
- ⑧ 山一電機(香港)有限公司 (販)
- ⑨ 上海事務所 (販)
- ⑩ 山一電子(深圳)有限公司 (技 生)
- ⑪ 亞洲山一電機工業株式会社 (生 販)
- ⑫ プライコンマイクロエレクトロニクス INC. (生)
- ⑬ テストソリューションサービスINC. (生)

日本

- ⑮ 山一電機株式会社 (技 販)
- ⑯ 佐倉事業所 (生)
- ⑰ 佐倉事業所 諏訪分室 (生)
- ⑱ 大阪営業所 (販)
- ⑲ 熊本営業所 (販)
- ⑳ 大分営業所 (販)
- ㉑ マティ株式会社 (生)
- ㉒ 大分事業所 (生)
- ㉓ 株式会社ハイエンブラ (生)
- ㉔ 光伸光学工業株式会社 (生 販)

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 60,000,000株
- ② 発行済株式総数 20,537,875株
- ③ 株主数 6,051名
- ④ 単元株式数 100株
- ⑤ 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	株	%
S M K 株 式 会 社	939,200	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	910,500	4.8
有 限 会 社 ワ イ プ ロ ス パ ー	756,500	4.0
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	619,300	3.3
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	531,300	2.8
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	526,275	2.8
株 式 会 社 み す ほ 銀 行	522,500	2.8
山 一 電 機 従 業 員 持 株 会	489,388	2.6
山 中 一 孝	423,600	2.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	417,000	2.2

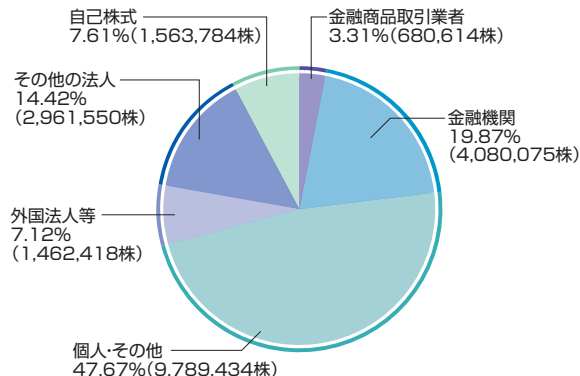
(注) 1. 当社は自己株式1,563,784株を所有しておりますが、大株主からは除外しております。

2. 出資比率は自己株式1,563,784株を控除して計算しております。

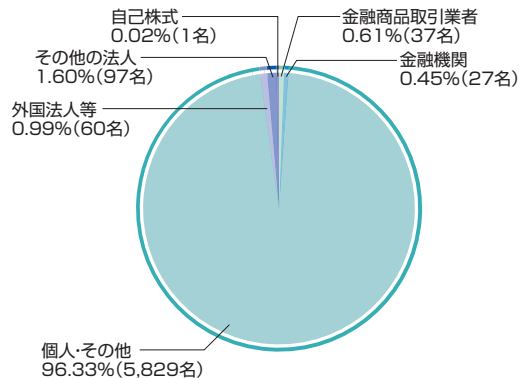
3. 上記信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は以下のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	910,500株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	417,000株

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で
ご覧いただける
投資家情報

- IRカレンダー
- 決算短信
- 株主のみなさまへ
- 有価証券報告書
- お問い合わせ
<http://www.yamaichi.co.jp/aboutus/ir/ir.shtml>

 山一電機株式会社

〒143-8515 東京都大田区中馬込三丁目28番7号
☎03-3778-6111（代表） ☎03-3778-6171
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

